

過去問ライブラリー 判断推理

国家Ⅱ種 2007 対応関係

問題

ある売店では、カレーパン、メロンパン、サンドイッチの3種類のパンを売っており、カレーパンとメロンパンの値段はそれぞれ1個120円、サンドイッチの値段は1個240円である。ある日、3種類のパンがそれぞれ2個ずつ売れ残っているときに、A～Eの5人が、A、B、C、D、Eの順に売店を訪れ、また、買ったパンについて次の発言をしているとき、Eについて確実にいえるのはどれか。

ただし、各人が店を訪れている間、他に客はいなかった。

- A 「240円分買ったが、サンドイッチは買っていない。」
- B 「1個買ったが、Aが買ったものは買っていない。」
- C 「240円分以上買ったが、Aが買ったものもBが買ったものも買っていない。」
- D 「私が欲しいものは2種類とも売り切れていたので何も買わなかった。」
- E 「私が欲しいものは売り切れていたため、仕方なく残っていたものすべて買った。」

1. カレーパンとメロンパンを買った。
2. サンドイッチを2個買った。
3. Aが買ったパンと同じものを買った。
4. Bが買ったパンと同じものを買った。
5. Cが買ったパンと同じものを買った。

解説

A～Cの発言より、3人は別々の種類のパンを買っていますので、それぞれが1種類ずつ買ったことが分かります。

まず、Aはカレーパンかメロンパンのいずれか片方を2個買い、Bは他の2種類のいずれかを1個買い、Cは残る1種類のパンを買いましたが、この時点で2種類は売り切れていたことがDの発言から分かりますので、Cはそのパンを2個とも買ったこととなります。これより、D、Eが売店を訪れたときに残っていたのは、Bが買ったのと同じ種類のパン1個だけで、これをEが買ったことがEの発言から分かり、正解は肢4と分かります。